

# Magsafe取り付け スマートフォンホルダー (吸盤取付けタイプ) 取扱説明書

この度は、Magsafe取り付けスマートフォンホルダー(吸盤取付けタイプ)「**200-CAR117**」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。

## 最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。  
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

### セット内容

①マグネットホルダー …… 1個      ②メタルリング …… 1枚

※欠品や破損があった場合は、**品番**(200-CAR117)と  
**上記の番号**(①・②)と**名称**(メタルリングなど)をお知らせください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。  
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

## サンワサプライ株式会社

### もくじ

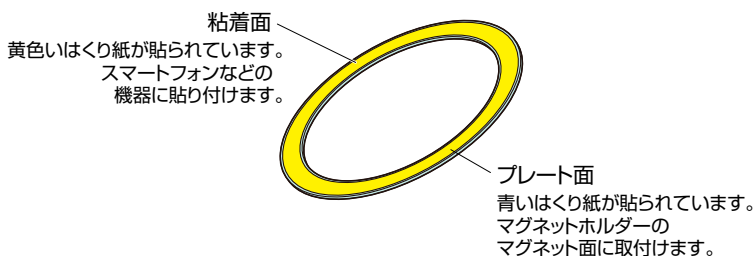
1.各部の名称とはたらき ……	P.2
2.対応機器、設置条件 ……	P.2
3.取付け位置について ……	P.3
4.ダッシュボードへの設置方法 ……	P.4～6
MagSafe非対応機器を取付ける場合 ……	P.6
5.各部の可動範囲 ……	P.7
向きの調節方法 ……	P.7
6.取外し方法 ……	P.7
7.使用上のご注意 ……	P.8～10
絵表示の意味 ……	P.9
安全にご使用いただくためのご注意(必ずお守りください) ……	P.9～10
8.仕様 ……	P.10

## 1.各部の名称とはたらき

### ①マグネットホルダー



### ②メタルリング



## 2.対応機器、設置条件

### ■対応機器

- MagSafe対応iPhone
- MagSafe対応ケースを装着した300g以下のスマートフォン
- 付属のメタルリングを貼り付け可能な300g以下のスマートフォン

### ■耐荷重

- 300g

### ■対応車種

- 吸盤部が貼り付くW80×D80mm以上の平滑で水平な場所がある車種

### ■設置可能サイズ

- W80×D80mm以上の平滑で水平な場所

### 3.取付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合した位置に取付けることが義務付けられています。下記の「前方視界基準」を参照して運転者の視界を妨げない位置に取付けてください。

※道路運送車両の保安基準第21条(運転者席)、  
細目告示第27条および別途29条

#### <前方視界基準>

##### ■対象車種

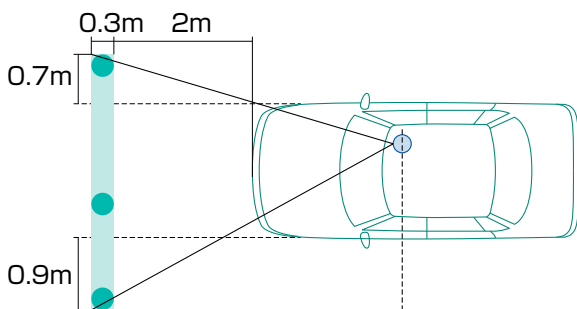
- ①専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11人以上のものを除く)
- ②車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

##### ■基準概要

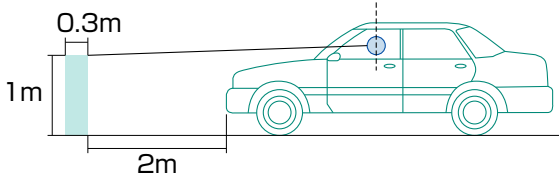
自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いず直接視認できること。

※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は左右逆になります。

#### 【上面図】



#### 【側面図】



## 4.ダッシュボードへの設置方法

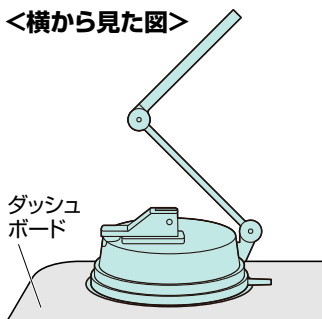
### ⚠️ ご注意(必ずお読みください)

- 本製品を設置する前にダッシュボードの取付け面をきれいにしてください。汚れていると吸盤の吸着力が弱くなり、落下する恐れがあります。
- ダッシュボードの材質や表面仕上げによっては、吸盤の跡が残ることがあります。あらかじめご理解の上、ご使用ください。

- 「3.取付け位置について」を参照し、取付け位置を決めてください。
- ダッシュボードの材質が本革・スウェード・布張りなどの場合は表面仕上げを傷める場合がありますので取付けないでください。
- 吸盤の吸着力でダッシュボードが変形する場合があります。
- 取付ける際にウインカーレバーやシフトノブ、スイッチ等の操作に影響がないかをご確認ください。またエアバッグ作動時に影響のない場所に取付けてください。
- 車内の高温・低温状態が長時間続くと吸着力が低下し、脱落する恐れがあります。使用前に十分に固定されていることを必ず毎回確認してください。
- 使用後は本製品をダッシュボードから取外してください。本製品をダッシュボードに取付けたまま放置すると、ダッシュボードが変形・変色する場合があります。ダッシュボードが変形した場合、吸盤の吸着力が弱くなり、脱落する恐れがあります。
- 取付ける車種や直射日光などの影響により、本製品の取付け部分に変色したり、日焼けによる取付け跡が残る場合があります。
- 吸盤全体がしっかりと密着していないと使用中に外れる恐れがあります。
- 吸盤を取外す際は、吸盤が破損することのないよう必ず吸盤のツマミを持って取外してください。
- ダッシュボード上の平滑で水平な場所を選んでください。
- 表面のシボ加工が粗い素材や指で押すと変形するような柔らかい素材には吸盤の吸着力が十分得られない場合があります。使用前に十分に固定されていることを毎回確認してください。

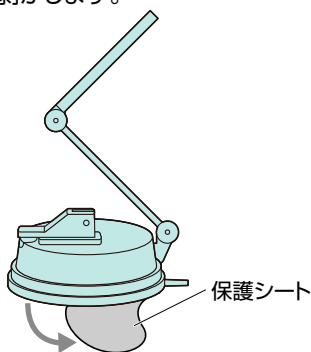
1. 取付けるダッシュボードのホコリや汚れをきれいに拭き取ります。
2. マグネットホルダーをダッシュボードに乗せて、取付け位置を確認します。  
※詳しくはP.7「5.各部の可動範囲」をご覧ください。

#### <横から見た図>

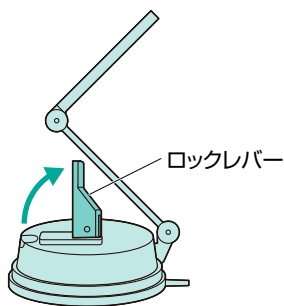


- 本製品がしっかりと取付けられるように、必ずダッシュボードの平らな面を選んでください。
- 吸盤全面が貼り付けられる位置にしてください。
- フロントガラス、側面ガラスには取付けないでください。
- 取付け面をよく脱脂してから取付けてください。

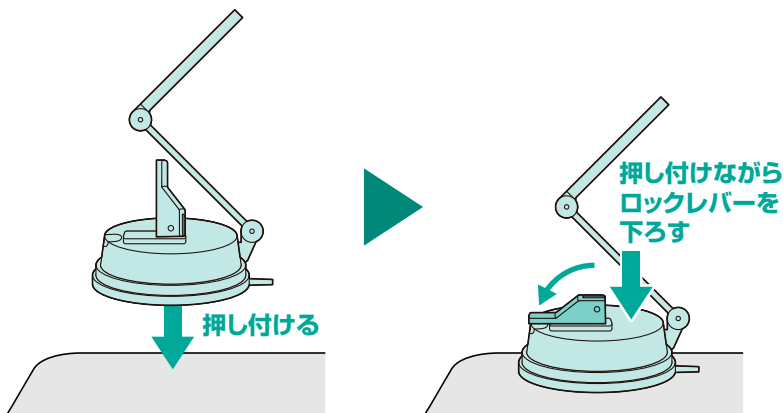
3. 吸盤底面の保護シートを剥がします。



4. ロックレバーを上げます。



5. ダッシュボードにマグネットホルダーを押し付け、押し付けながらロックレバーを下ろします。

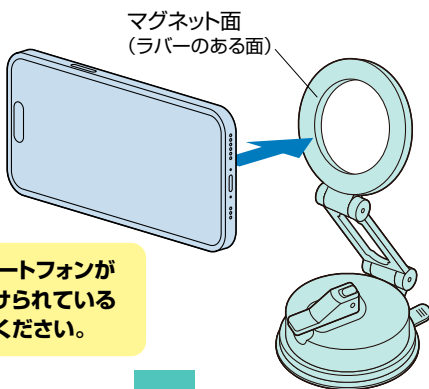


- しっかりと固定されていることを確認してください。
- 設置直後は吸着が不安定です。設置後、24時間経過後に使用することをお進めします。



MagSafe非対応の機器を取付ける場合は手順6の前にP.6をご確認ください。

6. MagSafe対応のスマートフォンをマグネットホルダーに近づけ、マグネット面のしっかりと磁力で固定される位置に取付けます。

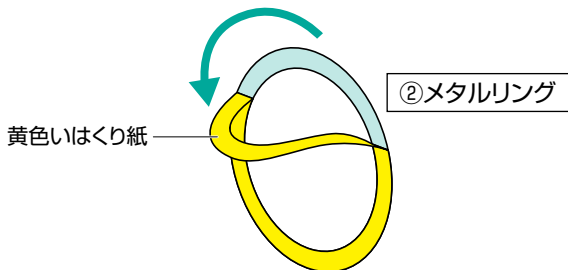


ご使用前にスマートフォンがしっかりと取付けられていることを確認してください。

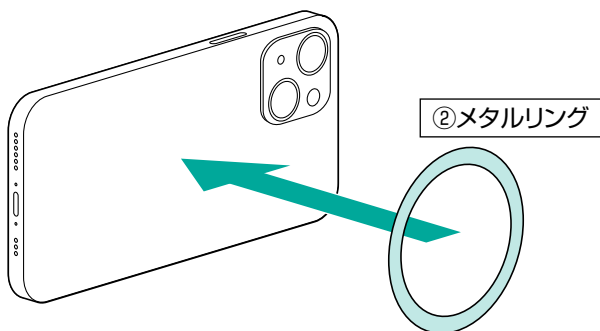
## MagSafe非対応の機器を取付ける場合

前ページ手順6の前に、以下を行ってください。

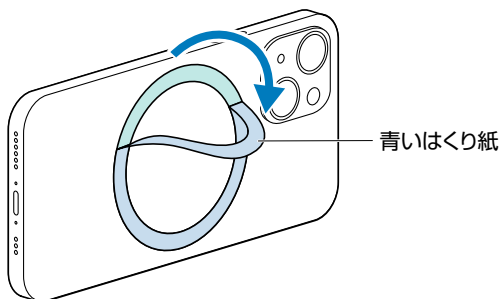
1. メタルリングの黄色いはくり紙をはがします。



2. 機器にメタルリングの粘着面を貼り付けます。



3. メタルリングの青いはくり紙をはがします。

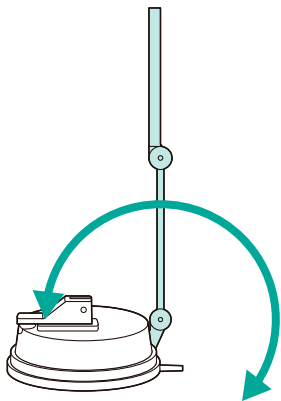


▶ P.5 手順6へ

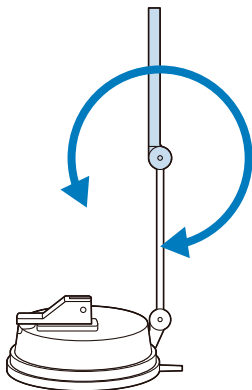
## 5.各部の可動範囲

<横から見た図>

アームの可動範囲

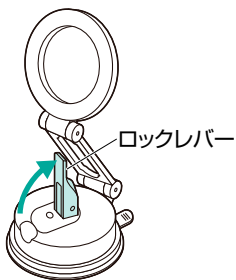


ホルダー部の可動範囲

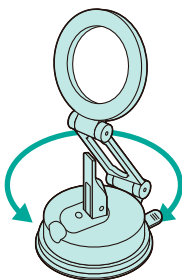


## 向きの調節方法

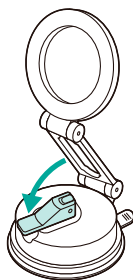
1. ロックレバーを上げます。



2. 向きを調節します。



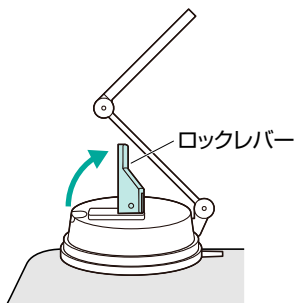
3. ロックレバーを下げます。



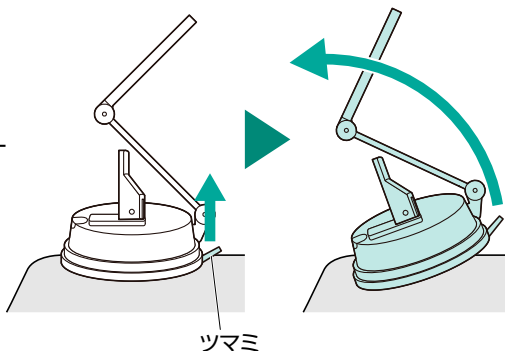
## 6.取外し方法

1. ロックレバーを上げます。

<横から見た図>



2. 片方の手でつまみを持ち上げながら、もう片方の手で製品全体を持ち、傾けて取外します。



## 7.使用上のご注意



### 2019年12月1日の道路交通法改正により「ながら運転」が厳罰化されました。

スマートフォンの保持、スマートフォンやカーナビの注視による交通事故が生じた場合の罰則が強化されました。違反点数と反則金が約3倍に引き上げられ、懲罰刑も重くなるなど、厳罰化されました。

車載ホルダーを使用することで、スマートフォン、タブレットの保持を防止できます。

※スマートフォンやタブレットの操作は必ず安全な場所に停止した上で行ってください。

また、運転中の2秒以上の画面注視は絶対にしないでください。

※運転前に本製品および取付けた機器がしっかりと吸着・固定されているかを毎回必ず確認してください。

※厚手のスマートフォンケースや、多重構造など、一部のスマートフォンケースではご使用できない場合があります。

※運転後は取付けた機器を必ず取外してください。

※指などを挟まないように注意してください。

#### ■車のシステムについての注意

- 車種によっては自動車盗難システム(イモビライザー)、キーレスエントリー、その他制御機器が誤作動する場合があります。設置する際は必ず事前に確認してください。設置場所を変更するなどしても改善されない場合は、ご使用を中止してください。





#### ■運転中の注意

- 安全のため、運転中に充電機器の操作を行わないでください。

#### ■その他の留意事項









- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用に際し、設置機器および自動車を破損した場合について弊社は設置機器、自動車の保証は致しかねます。

## 絵表示の意味

 <b>警告</b>	内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 <b>注意</b>	内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。
 <b>禁止</b>	行ってはいけない「禁止」行為の内容を示しています。
 <b>指示</b>	「指示」に従って実行しなければならない内容を示しています。

## 安全にご使用いただくためのご注意(必ずお守りください)

### **警告**

-  分解・修理・改造は絶対にしない。  
火災や感電、またはけがをする恐れがあります。修理や改造、分解に起因する物的損害について、弊社は一切責任を負いません。
-  誤った方法で設置・使用しない。  
本製品をさかさまにしたり、風通しの悪い場所で使用したりしないでください。通気性の悪い場所に設置しないでください。
-  湿気やホコリの多い場所へ置かない。  
加湿器のそばや調理台の近く、その他ホコリの多い場所に設置しないでください。回路がショートして火災・感電の原因になります。
-  自動車運転中に本製品及び取付けた機器を操作しないでください。  
必ず安全な場所に停車してから操作してください。
-  運転者の視界及び運転操作を妨害する位置や、エアバッグの動きを妨害する位置には設置しないでください。
-  対応機器以外の物を本製品に取付けないでください。
-  本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
-  本書の内容をお読みにになり、充分理解した上で正しく設置してください。
-  日光で取付けた機器が熱くなる場合があります。  
車内で長時間使用する際はご注意ください。
-  機器を設置したままで車内に放置しないでください。

# 注意



不安定な場所に置かない。

傾いた場所や不安定な場所に置かないでください。落下してけがや事故の原因になります。



薬物を使用しない。

ベンジン、シンナー、合成洗剤などで外装を拭かないでください。また接点復活剤を使用しないでください。外装が劣化するほか、部品が溶解する恐れがあります。



用途以外には使用しないでください。



小さなお子様の手が届かないように本製品を設置してください。



可動部に手などを挟まないように注意してください。

## 8.仕様

サイズ	約W68×D86×H33mm(折りたたみ時)
重量	約119g(本体のみ)